

質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	設計図（擁壁工）32/57に記載のあるL型擁壁工の置換え工（良質材）403.0m ³ について、費用の計上先が分かりませんのでご教示ください。	ずり処理工に計上しています。
2	設計図（土工）60/71のDv-P-(cor)-φ0.20の材料表に「10m当り」とありますが、記載されている数量は100m当りとなっているように思われますので、御確認願います。	当該材料表は100m当りの数量としておりましたので、設計図を訂正いたします。
3	トマム川橋工事用道路で施工する土側溝 D・(1.05-0.30)・0.30(A)について、設計図（工事用道路）に用排水工詳細図や単位当り数量表が見当たりませんので、仕様が分かる図面を御提示願います。	仕様が分かる排水工詳細図を追記いたします。
4	集水ますType Lについて、特記仕様書29-4-2に「設計図書に示す記号」としてDc [^] (Sp)-0.80・0.80・2.25と記載がありますが、該当する仕様が設計図に見当たりません。 一方、設計図（土工）67/71用・排水工詳細図（8）のDc-S-0.80-0.80-Hの材料表の摘要に「TYPE-L」とあることから、特記仕様書の「Dc [^] (Sp)」は「Dc-S」の誤記と考えて良いのでしょうか。	設計書の記載内容が正となります。 特記仕様書の設計図書に示す記号は「Dc-S-0.80・0.80・H」（Hはます深さを示す）となり、標準コンクリート量は2.16m ³ となります。
5	設計図（トンネル工）43/131に記載されている既設の覆工取壊しについて、費用の計上先が分かりませんのでご教示ください。	割掛項目の避難連絡坑補強費に計上願います。

番号	質問事項	回 答
6	<p>金抜設計書の数量について、番号 90～107 トンネル掘削の数量を弊社が集計すると 211,016m³ になり、番号 127、129～131 ずり処理工 A1、B1～B4（番号 128 ずり処理工 A2 を除く）の数量を集計すると 208,732m³ となります。</p> <p>トンネルの掘削数量と運搬数量が一致しませんが、設計数量に誤りはないでしょうか。</p>	<p>ずり処理工 B3 は 85,312.2m³ が正となります。</p>
7	<p>項目番号 12- (9) 防水工 A-S について、御社の土木工事共通仕様書および特記仕様書に該当する項目がなく、仕様が分かりませんのでご教示ください。</p>	<p>特記仕様書及び設計図に仕様等を明示いたします。</p>
8	<p>特記仕様書 29-14 高盛土排水工 水平排水層および基盤排水層について、どこの盛土部で施工するのか、設計図で確認することができませんでした。高盛土排水工の施工箇所はどの図面を確認すれば良いのか、ご教示ください。</p>	<p>参考図 3/37 に記載の箇所となります。</p>
9	<p>御社の土木工事積算基準 7-5 頁 4-1 土量換算率 (2) に、「購入材料等により出来形検測を行う場合の土量換算率を考慮した割増し」の記載がありますが、番号 5～7 盛土工、番号 10 構造物裏込め工および番号 195～196 高盛土排水工において、購入材料の割増しを考慮されているか、ご教示ください。</p>	<p>貴社のご判断に基づき費用を計上願います。</p>

番号	質問事項	回答
1 0	<p>トマム川橋工事用道路に設置する仮栈橋について、特記仕様書 29-20 仮栈橋工には撤去に関する記載がありませんが、設計図（仮栈橋工）1～2/16 の数量表に「上部工（プレガーター）設置・撤去」、「下部工設置・撤去」、「杭橋脚打込み・引抜き」と記載があります。</p> <p>特記仕様書の内容から、今回工事に仮栈橋の撤去は含まれないと考えて良いでしょうか。今回工事に含まれる場合は、費用を計上する単価項目が分かりませんので、ご教示ください。</p>	<p>本工事に仮栈橋の撤去は含まれておりません。</p>
1 1	<p>設計図（撤去工）28/43 の防雪柵 B1（H=6m）材料表に「L=149.0m 当り」と記載がありますが、金抜設計書の番号 236 撤去工 防護柵 B1（H=6m）の数量は 116m となっています。いずれが正か、ご教示ください。</p>	<p>撤去工防雪柵 B1（H=6m）の数量は 116m が正となります。</p>
1 2	<p>設計図（撤去工）31/43 数量表の工事用道路 A の撤去工に、道路掘削 35,920.2m³ とありますが、数量明細表では工事用道路 A の道路掘削および捨土掘削の土砂合計数量は 28,324.4m³ しかなく、工事用道路 A の撤去工として施工する道路掘削 35,920.2m³ が含まれていないように思われます。</p> <p>このことから、今回工事に工事用道路 A の撤去工は含まれないと考えて良いでしょうか。</p> <p>今回工事に含まれる場合は、費用を計上する単価項目が分かりませんので、ご教示ください。</p>	<p>工事用道路 A の撤去工に道路掘削 土砂 B は含まれないため、設計図の数量表より削除いたします。</p>
1 3	<p>特記仕様書 29-26 試掘工の支払に「土のうの製作、設置」とありますが、設計図書から土のうの設置数量が確認できませんので、ご教示ください。</p>	<p>設計図書に土のうの設置数量を示すこととします。</p>

番号	質問事項	回答
1 4	<p>監督員詰所費の設置期間について、入札公告の工期が「1,800 日間」(÷30 日/月=60 ヶ月間)となっているのに対し、割掛対象表参考内訳書では「工事期間：85.7 ヶ月」となっており、工事期間が工期を超過していますが、間違いはないでしょうか。</p>	<p>工事期間 60 ヶ月が正となります。</p>
1 5	<p>東側坑口からトンネル掘削を行う場合、西側坑口の手前で縦断勾配が下り勾配となることから、通常の坑内排水設備の他に強制排水用の排水設備が必要かと思われませんが、強制排水設備の費用の計上先が分かりませんのでご教示ください。</p>	<p>割掛項目の坑内仮排水設備費に計上しています。</p>
1 6	<p>参考図 12～21/37 に仮設沈砂池が 7 箇所 (a、b-1、b-2、c-1、c-2、c-3、d) 記載されていますが、割掛対象表参考内訳書の沈砂池費では「設置箇所：6 箇所」となっています。いずれが正か、ご教示ください。</p>	<p>参考図に記載の 7 箇所が正となります。</p>
1 7	<p>割掛工事費の防音壁費について、割掛対象表参考内訳書では撤去の要否に関する記載がありませんが、防音壁は設置のみでなく撤去も必要であり、撤去に要する費用も割掛工事費に計上するものと考えて良いでしょうか。</p>	<p>防音壁費に撤去に要する費用も計上願います。</p>
1 8	<p>割掛対照表において、割掛項目「足場工費」の割掛先契約項目に「○」印がございません。当該足場工は「擁壁工、共同溝、C-Bx」を対象としております。「足場工費」の割掛先契約項目についてご記載願います。</p>	<p>足場工費の割掛先は以下の項目となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート A 1-3 ・型わく C ・はく落防止対策工 A
1 9	<p>工事用道路図面 (16/33) に道路掘削 土砂 B および道路掘削 土砂 (表土) B と表記がありますが、金抜設計書 道路掘削 土砂 A に含まれるのでしょうか。</p>	<p>対象となる項目は道路掘削 土砂 A のみとなります。</p>

番号	質問事項	回 答
20	<p>金抜設計書 番号 180 構造物取壊し工 アスファルト舗装版取壊し (Type B) の数量は 728m² となっておりますが、撤去工図面 (6/43～8/43) から拾ったところ 654m² しかありません。</p> <p>どちらが正かご教授願います。</p>	<p>構造物取壊し工 アスファルト舗装版取壊し (Type B) の数量は 654 m²が正となります。</p>
21	<p>金抜設計書 番号 179 構造物取壊し工 アスファルト舗装版取壊し (Type A) の数量は 527m² となっておりますが、撤去工図面 (31, 32/43) の工事用道路 A のアスファルト舗装版取壊し (Type A) の数量 1,750m² が含まれておりません。</p> <p>アスファルト舗装版取壊し (Type A) の数量は 2,277m² が正ではないでしょうか。</p>	<p>構造物等取壊し工 アスファルト舗装版取壊し TypeA の数量は 1,752 m²が正となります。</p>
22	<p>撤去工図面 (31/43) に道路掘削 土砂 B V=35,920m³ と表記がありますが、金抜設計書 道路掘削 土砂 A に含まれるのでしょうか。</p> <p>対象箇所は盛土区間となるのでこの表記は誤りではないでしょうか。ご教授願います。</p>	<p>対象となる項目に道路掘削 土砂 B は含まれません。</p>
23	<p>割掛対象表において、【仮設備工事費】足場工費の割掛け先が明示されておられません。</p> <p>割掛け先をご教授願います。</p>	<p>足場工費の割掛先は以下の項目となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート A1-3 ・型わく C ・はく落防止対策工 A
24	<p>割掛対象表において、【仮設備工事費】支保工費がコンクリート A1-3 と型わく C に割掛かっていますが、土木工事積算基準によると支保工は型わくに割掛ると記載されております。</p> <p>どちらが正かご教授願います。</p>	<p>設計図書に示す割掛先に従い、費用を計上願います。</p>

番号	質問事項	回 答
25	<p>設計図(トンネル工)35/131 本工補強鉄筋図(1)の位置図で起点側 52.0m+290.0m+30.0m=372.0m ですが(35@10.5m=367.5m)+9.0m=376.5m と延長が合いません。また、終点側 318.0m+12.0m=330.0m で 9.0m+(31@10.5m=325.5m)=334.5m と延長が合いません。9.0m は 4.5m ではないでしょうか。</p>	<p>設計図(トンネル工)36/131 及び 37/131 で対象区間としている箇所の延長は 4.5m が正となります。</p>
26	<p>設計図(トンネル工)46/131 非常駐車帯・避難連絡坑一般図(6)の表で連絡坑支保パターン図が全てCIIになっています。 CI ではないでしょうか。</p>	<p>CI が正となります。</p>
27	<p>設計図(トンネル工)131/131 水抜きボーリング工一般図に水抜き工が明示されています。トンネル掘削工に計上されていますか。 計上されている場合、どの項目で計上されているか。ご教示願います。 また、水抜き孔にはケーシングを設置するのでしょうか。</p>	<p>水抜きボーリングに要する費用はトンネル掘削 DIIIa-S1-B (水抜有)、DIIIa-S2-B (水抜有) に計上願います。 また、水抜き孔へのケーシングの設置は想定しておりません。</p>
28	<p>設計図(トンネル) 図番 1/131 の地質平面縦断図において、「第三紀～白亜紀」が多く分布しておりますが、積算上は白亜紀も第三紀として考えるのでしょうか。 また、トンネル起点側は一部、第四紀の岩屑堆積物が分布していますが、当該部分も第三紀として考えるのでしょうか。</p>	<p>設計図(トンネル工)9/131 の地質平面図に記載の地山等級をご確認ください。</p>
29	<p>数量明細表の型枠C(T)の第一狩勝トンネル坑門工(起点側)の数量が 1,033.7m² との記載ですが、設計図面と配布された数量計算書とでは形状寸法に差異がございます。1,033.7m² の内訳についてご教示ねがいます。</p>	<p>型枠C(T)の内訳は以下のとおりです。 面壁背面型枠 13.2 m² 型枠(外型枠) 477.5 m² 型枠(内型枠) 444.6 m² 型枠(妻型枠) 98.4 m²</p>

番号	質問事項	回 答
30	<p>【積算基準 35-19-1、表 4-1 作業別の標準労働時間について】</p> <p>本工事は「週休 2 日推進工事(発注者指定方式)」であることから、トンネル工の積算労務単価は、R5 年度版 土木工事積算基準 P35-19-1 の表 4-1 に示された作業別の標準労働時間から計算される単価を使用すると考えて良いですか。</p>	<p>貴社のご判断に基づき費用を計上願います。</p>